



あたらしい本

第 202号 2020. 10. 15 発行 (こども版)



たくさんよんでくださいね!

「まんぷくよこちょう」 なかざわくみこ / 作 ^{さく} 文 ^{ぶん} 溪 ^{けい} 堂 (えほん 幼児向き)

今日はまんぷくよこちょう「ふくのいち」の日。たあちゃんは、おじいちゃんとお買い物に。
個性溢れる商店街には、お惣菜、おでん、たぬき焼き、駄菓子、試食、ふくびき・・・おいしいものと、楽しいことがいっぱい!

「ハロウィンのかぼちゃをかざろう」 ジャーヴィス / 絵
パトリシア・トート / 文 ^{ぶん} BL 出版 (えほん 幼児向き)

もうすぐハロウィン。かぼちゃを買ってきて、中身をかきだして、顔のかたちを切り抜いて、中に火をつけたら・・・。ジャックオランタンをつくる家族の物語を読みながら、ハロウィンの楽しみ方がわかる本。

「月のふしぎ はじめてのかかくのえほん」 いしがきわたる / え おおめまたかし / かんしゅう
マイルスタッフ インプレス (発売) (えほん 小初向き)

月があとをついてくるように思うのはなぜ? 色や形が変わるのはなぜ? 月食・日食ってなに? 地球に一番近い星・月について紹介します。解説と補足も掲載。

「日本どっちからよんでも さんぽにっぽんさ」 たかぼたけ 純 / 絵 ^え 本村亜美 / 文 ^{ぶん}
絵本館 (えほん 小初向き)

「ウド イカッ ホタテ来てた北海道」「立冬東京よき。ウトウト釣り」「永遠(とわ)な記憶沖縄と」・・・。北海道から沖縄まで、47都道府県すべての「回文」を、楽しい絵とともに紹介する。

「ココロ屋 つむぎのなやみ」

なしや 梨屋アリエ / 作

かんの ゆきこ え 菅野由貴子 / 絵

ぶんけんしゅっぱん 文研出版 (よみもの 小中向き)

ちかこに意地悪をされたつむぎ。「負けたくない。ココロを入れかえたい!」とおもっていると、ココロ屋がやってきた。自分のココロを「意地悪なココロ」と入れかえてもらったら、意地悪するといいい気分。でも……。

「セラピードッグのハナとわたし」

ほり 堀

なみこ さく 直子 / 作

さたけ みほ え 佐竹美保 / 絵

ぶんけんしゅっぱん 文研出版 (よみもの 小中向き)

しょうがっこう 4年生の花菜は、おばあちゃんが居る老人ホームでセラピードッグの存在を知る。ある日、泣いているみたいなさびしい目をした犬「見習いのハナちゃん」がやってきた。花菜は、ハナちゃんの悲しい生い立ちを知り……。

「イルカと少年の歌

しょうねん うた

うみを 守りたい

エリザベス・レアード / 作

いしたにひさこ

やく

ひょうろんしゃ

石谷尚子 / 訳 評論社 (よみもの 小上向き)

うみ へい 海に入ることを禁じられて育ったフィン。ある日、海に落ちてしまうが、水の中で自由に泳げることがわかる。フィンはいルカ族の血を引いていた! 人間のイベントのせいでイルカたちに危機が迫っていることを知ったフィンは……。

「おじいちゃんとの最後の旅」

さいご たび

ウルフ・スタルク / 作

キティ・クローザー / 絵

とくましょてん

徳間書店 (よみもの 小上向き)

びょういん にゆういん

病院に入院しているおじいちゃんが、死ぬ前に家に取りに行きたいものがあるという。ぼくはおじいちゃんのために、病院を抜け出すカンペキな計画を立てた……。切ない現実をユーモアでくみ、巧みに描いた物語。